

製品名: FSH ベータ (5T6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11165**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	FSHB
別名	FSHB; FSHbeta;
遺伝子 ID	2488.0
SwissProt ID	P01225
免疫原	ヒト FSH ベータの合成ペプチド

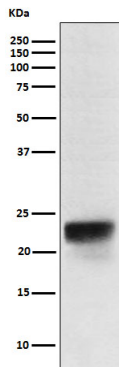
背景

卵胞刺激ホルモン (FSH) は、卵巣の卵胞を胞状卵胞期まで形成させ、精巣におけるセルトリ細胞の増殖と精子の質の維持に不可欠です。CGA は α 鎖と共に FSH (卵胞刺激ホルモン) を形成し、このホルモンヘテロ二量体に生物学的特異性を付与します。FSH は標的細胞上の G タンパク質共役受容体である FSHR に結合し、下流のシグナル伝達経路を活性化します (PubMed:2494176、PubMed:24692546)。FSH は生殖器官における卵胞の発達と精子形成に関与しています (PubMed:407105、PubMed:8220432)。

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;GnRH;

画像データ



ヒト下垂体溶解物中の FSH ベータ発現のウェスタン ブロット分析。